

平成 23 年度文部科学省博士課程教育リーディングプログラム採択プログラム
「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」
第 1 回フェニックスセミナーを実施

広島大学大学院「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」は、キャリアパスの構築や充実における課題に対応した講師を国内外から招聘しセミナーを実施することにより、フェニックスリーダーとしての資質の向上を図ることを目的として、「リーダーシップを語ろう」というテーマで、平成 26 年 5 月 26 日に、メルパルク広島 6 階「平成」にて第 1 回フェニックスセミナーを開催し、企業人や大学院生など約 60 名が参加しました。

まず IAEA ヒューマンヘルス部長の Rethy K. Chhem 氏から「リーダーシップは生まれながら備わった資質であるか否か」といったトピックスを含めて、グローバルリーダーとリーダーシップに関する講演が行われました。また、岡本哲治プログラム責任者からは、プログラムの進捗状況の紹介がありました。さらに、プログラム 1 年生による活動報告が行われ、海外語学研修前後で TOEIC のスコアがどの程度アップしたかといった具体的な数字が示され、修学進捗状況が示されました。

最後に、神谷研二プログラムコーディネーターは、「今回講演いただいた Chhem 氏はまさにグローバルリーダーのお手本である。プログラム学生もグローバルリーダーとして活躍するために更なる修学を積んで欲しい。」と締めくくりました。



会場の様子



Rethy K. Chhem 氏 (IAEA)



岡本哲治
プログラム責任者



神谷研二
プログラム
コーディネーター



プログラム学生による
活動進捗状況報告